

嘔吐物処理・消毒方法

【1回の嘔吐物処理に必要な物品(ノロセット)】

- 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）
- 新聞紙（4～5日分）
- 捨ててよいぞうきんやタオル、ペーパータオルなど（すべて使い捨て）
- ゴミ袋（90L） 2枚
- 身支度セット 2人分
- バケツ（★）
- 2L ペットボトル（★）
- 2L ペットボトルに被せるビニール袋

消毒液を薄める容器（★）には薬剤の量や水を入れるところまでの印を記載しておくとう便利！



1人分の身支度セット

(すべて使い捨て)

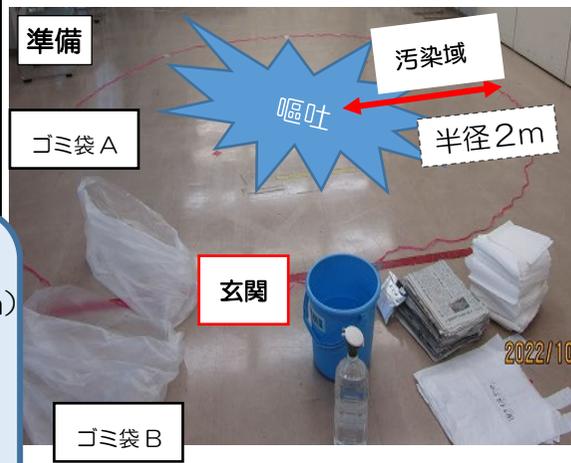
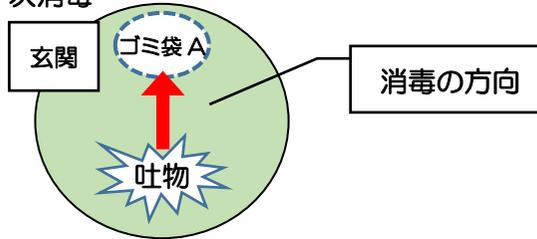
- マスク 2つ
- 手袋 3セット
- エプロン 1枚
- シューズカバー 1セット
※サドルカバーでも代用可能
- 髪留め or
ヘアキャップ 1セット
- ソックスバンド
(服が汚染しないように)

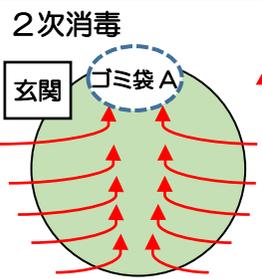
◆吐物処理では、0.1%(1000ppm)の次亜塩素酸ナトリウム希釈液を用います

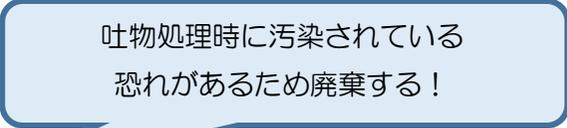
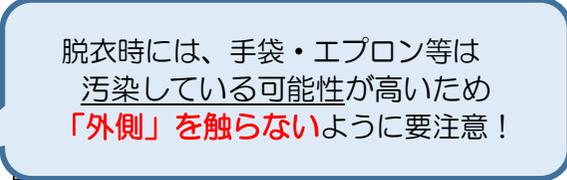
		希釈倍	希釈方法	
次亜塩素酸 ナトリウム 原液濃度	1%	10倍	水1L + 原液 110 ml	水5L + 原液 550 ml
	5%	50倍	水1L + 原液 20 ml	水5L + 原液 100 ml
	6%	60倍	水1L + 原液 17 ml	水5L + 原液 85 ml

嘔吐物処理、消毒方法 手順

	介助者	吐物処理者	
役割	換気、他の利用者の避難、 消毒液作成、吐物処理者の介助	嘔吐者の介助（複数回の嘔吐に備えてビニール袋を渡す、別室への誘導、着替えなど） 吐物処理	
嘔吐発生 他の人の避難、嘔吐者の対応は終了したとする			
換気	・2方向で換気を行う		<ul style="list-style-type: none"> 嘔吐物は目に見えなくても約半径2m・壁にも飛び散ります 広い範囲を消毒しましょう 感染拡大防止のため処理者・介助者は固定! ※他の人は立ち入らない
身支度	①介助者、吐物処理者ともにアクセサリ類、時計等を外し 「エプロン、マスク2重、手袋2重、シューズカバー」を着用。髪をヘアゴム等でまとめる。 ②裾が広がるスカートやズボンを着ている時は、ソックスバンド等で裾を止める		

	介助者	吐物処理者	
準備	①消毒液を作る ②ビニール袋を被せたペットボトル、バケツ、新聞紙、ペーパータオル、替えの手袋を汚染区域の外（吐物から 半径2m の場所）に設置する ③バケツ横に消毒液に浸した新聞紙を敷き、足ふき用にする= 玄関の設定 ④ゴミ袋 2枚用意 ゴミ袋 A→汚染区域（玄関）の内側 ゴミ袋 B→汚染区域（玄関）の外側	※吐物処理者は一度汚染区域内に入ったら処理終了まで出られない！ 玄関とは？ 汚染域と汚染区域の外の境目（吐物から半径2m）に設定する。 汚染域から出てくる時に玄関で足を消毒することで、汚染の拡大を防ぐ。	準備 
1次消毒 目に見える吐物を消毒	①乾いた新聞紙を上から吐物処理者に渡す →吐物処理者は新聞紙を下から受け取る ②消毒液の入ったペットボトルを吐物処理者に渡す ③乾いた新聞紙を上から吐物処理者に渡す →吐物処理者は新聞紙を下から受け取る ④ペーパータオルを渡す	汚染域（半径2m円）に入る ①吐物に乾いた新聞紙をかぶせる 吐物処理者が吐物を落として、介助者を汚染させることを防ぐため！ ②吐物の中心部（新聞紙の上）からペットボトルの消毒液をかける ペットボトルを汚染域の内側に置く ③乾いた新聞紙で吐物をゴミ袋 A の近くにまとめ、すくうようにしてゴミ袋 A に入れる（右図参照） ④取り切れない吐物はペーパータオルでふき取ってゴミ袋 A に入れる	1次消毒  

	介助者	吐物処理者	
2次消毒	<p>①消毒液を浸したペーパータオルを吐物処理者に渡し、介助者の分も準備する</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>この後、介助者も一緒にふき取りに入る</p>		<p>2次消毒</p> <p>玄関</p> <p>ゴミ袋 A</p> <p>消毒の方向</p> <p>玄関に一番遠いところから後ろ向きでふく！</p> <p><u>靴底が汚染している可能性があるため</u></p> 
目に見えない吐物を消毒			
	<p>②玄関から一番遠いところから、外側から中心部に向かって（右図参照）消毒液を浸したペーパータオルでふき取り、ゴミ袋 A に捨てる</p> <p>拭いたところを踏んで汚染しないように、後ろ向きでふき取り、ゴミ袋 A に捨てる</p> <p>③壁の消毒を行う</p>		
ゴミ袋 A を閉じる	<p>①シューズカバーを玄関で消毒し、玄関から汚染域の外に出る ※何度か足踏みをして消毒！</p> <p>②アウター手袋を外してゴミ袋 A に入れる</p> <p>③ペットボトルをビニール袋から引き出し汚染域の外側に置く</p> <p>⑤新しいアウター手袋を吐物処理者に渡す 介助者も新しいアウター手袋をつける</p> <p>⑥ゴミ袋 A に消毒液を回しかける</p>	<p>③ペットボトルにかけていたビニール袋を捨てる。</p> <p>④アウター手袋を捨てる</p> <p>⑤新しいアウター手袋をつける</p> <p>⑥一本結びで口を縛る。ゴミ袋 A をゴミ袋 B に入れる。※ゴミ袋 B はまだ閉じない</p>	<p>ゴミ袋は蝶々結びだと中の汚染物が漏れてしまう恐れがあるため 一本結びで結ぶ！</p> <p>空気を抜く時は自分の顔に向け無いようにする</p>  <p>一本結び</p> <p>蝶々結び</p>

	介助者	吐物処理者	
3次消毒	①乾いた新聞紙を上から吐物処理者に渡す	①乾いた新聞紙を汚染域（半径2m程度）に敷き詰める。※ゴミ袋Aがあった場所にも	 <p>3次消毒</p>
	③シューズカバーを脱いで捨てる。	②消毒液を回しかける ③シューズカバーを玄関で消毒し、脱いで捨てる	
残存するウイルスを死滅させる	消毒のために10分間置く		 <p>吐物処理時に汚染されている恐れがあるため廃棄する！</p>
	④玄関用の新聞紙、消毒に使用した新聞紙を乾いた新聞紙で集め、ゴミ袋Bに捨てる ⑤残った水分をペーパータオルでよく拭き取る※転倒防止のため ⑥1回分としてセットしておいた処理キット（新聞紙、ペーパータオル、雑巾など）をすべてゴミ袋Bに入れる		
脱衣	①アウター手袋を外して捨てる ②エプロンを外す 清潔な部分（エプロンの内側）を持って引っ張り紐を切る。その後、汚染部分を丸めて捨てる ③インナー手袋を外して捨てる ④マスクを外し、下を向いて捨てる	①アウター手袋を外して捨てる ②エプロンを外す 清潔な部分を持って引っ張り紐を切る。その後、汚染部分を丸めて捨てる ③インナー手袋を外して捨てる ④マスクを外し、下を向いて捨てる	 <p>脱衣時には、手袋・エプロン等は汚染している可能性が高いため「外側」を触らないように要注意！</p>
ゴミ袋Bを閉じる	ゴミ袋Bに消毒液を入れ、ゴミ袋Bを一本結びで閉じる ゴミ袋Bを風通しの良い場所に保管する		  <p>①最初の手は外側に ②反対の手は内側に触れて外す！</p>
手洗い・うがい	流水と石けんでの手洗い うがいをして終了	流水と石けんでの手洗い うがいをして終了	